

移民・難民をめぐる グローバル・ポリティクス

日本国際政治学会編

序論 移民・難民をめぐるグローバル・ポリティクス……石井由香	
フランス移民管理の対外政策化とEU多層的 移民ガバナンス……………植村充	
移民ガバナンスにおける地域間主義の意義……………中山裕美	
難民の分担をめぐる欧州諸国の世論分析……………中井遼健	
	武田健
武力紛争による人の移動と難民レジームの規範……………新垣修	
ミャンマーのロヒンギャ問題とASEAN……………重政公一	
オーストラリアのボートピープル政策と パリ・プロセスの展開……………飯笹佐代子	
ケニアにおける難民の「安全保障化」をめぐるパラドクス ……………杉木明子	
日中戦争初期における日米関係……………湯川勇人	
〈書評論文〉	
政軍関係研究の螺旋的發展に向けて……………岩坂将充	
〈書評〉	
オリヴァー・リッチモンド著	
『失敗した国家建設』……………古澤嘉朗	
遠藤貢著	
『崩壊国家と国際安全保障』……………納家政嗣	